

平成31年度一般会計当初予算のポイント

新たな時代を切り拓くまちづくり予算 **530億3,800万円**

(前年度当初予算比 **66億4,800万円 14.3%増**)

【主な増要因】三条技能創造大学、医療系高等教育機関、体育文化会館、新最終処分場等の整備事業に伴う投資的経費

このまちの基礎体力を向上させる!!!

【処方箋1】

教育・子育て政策の更なる展開	51.1億円
「ものづくりのまち」の更なる深化	27.2億円
健幸都市への更なる挑戦	140.7億円
安全・安心な暮らしへの更なる追求	36.4億円
全ての人々の尊厳の確保	3.9億円

- 小中一貫教育の洗練、深化
- 子育てしやすい環境の充実
- ニッチトップ企業の輩出、起業家等人材の育成・誘致
- 高齢者の外出機会の創出
- 水害対策、減災対策の推進
- 地域共生社会の実現
- 地域包括ケアシステムの構築に向けた環境整備 ほか

人を去らせず、来たる人を

追い求め、歓迎する!!! 【処方箋2】

若年層の転出抑制、自然動態改善への挑戦	32.9億円
若年層の転入促進	3.3億円

- 高等教育環境の充実と高校生への魅力の発信
 - ・三条技能創造大学施設建設、開設準備
 - ・医療系高等教育機関施設建設、開設準備
- 交流人口の拡大に向けた観光産業の創出
 - ・スカイランナー・ワールドシリーズ開催
 - ・フライフィッシングイベントの実施
 - ・アウトドア・アクティビティによる体感型プログラムの開発
- 受入体制の整備
- 子どもを産み、育てやすい環境の整備 ほか

人口減少社会、少子高齢化社会と共存する道を歩む!!!

【処方箋3】

「高齢者」概念の転換	0.1億円
「社会インフラ」概念の転換	49.3億円
「一極集中」思考の転換	1.2億円

○意欲や能力に応じた社会参画機会の創出

○持続可能な維持管理体制の構築

- ・社会資本に係る包括的維持管理業務委託

○公共施設等の見直し及び適切な維持管理の推進

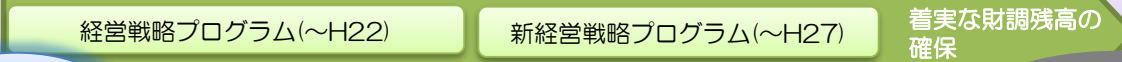
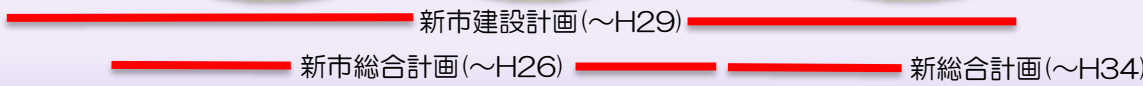
- ・八幡公園、トリムの森等の公園リニューアル

○多極分散型社会の堅持

- ・交流拠点としての機能再生(まちなか)
- ・アクセス道路等の環境整備(須頃)
- ・工業流通団地、住宅団地の造成(栄)
- ・チッタスローの取組による自然との調和(下田) ほか



リーマンショック 7.29豪雨 H29豪雪 人口減少・少子高齢化

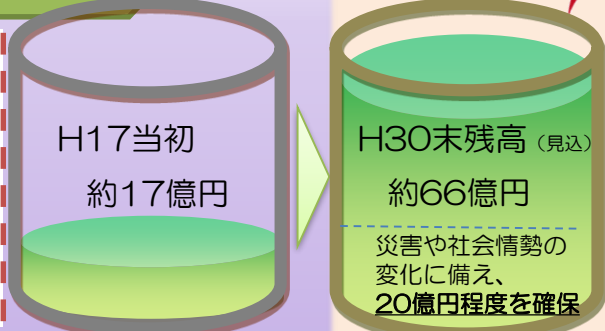


持続可能なまちへ
財政調整基金の
計画的な活用

時代に即した形にまちをデザイン

これまでの主な建設事業 ○6つの重点政策 ○5つの徹底/3つの基盤 ○3つの処方箋

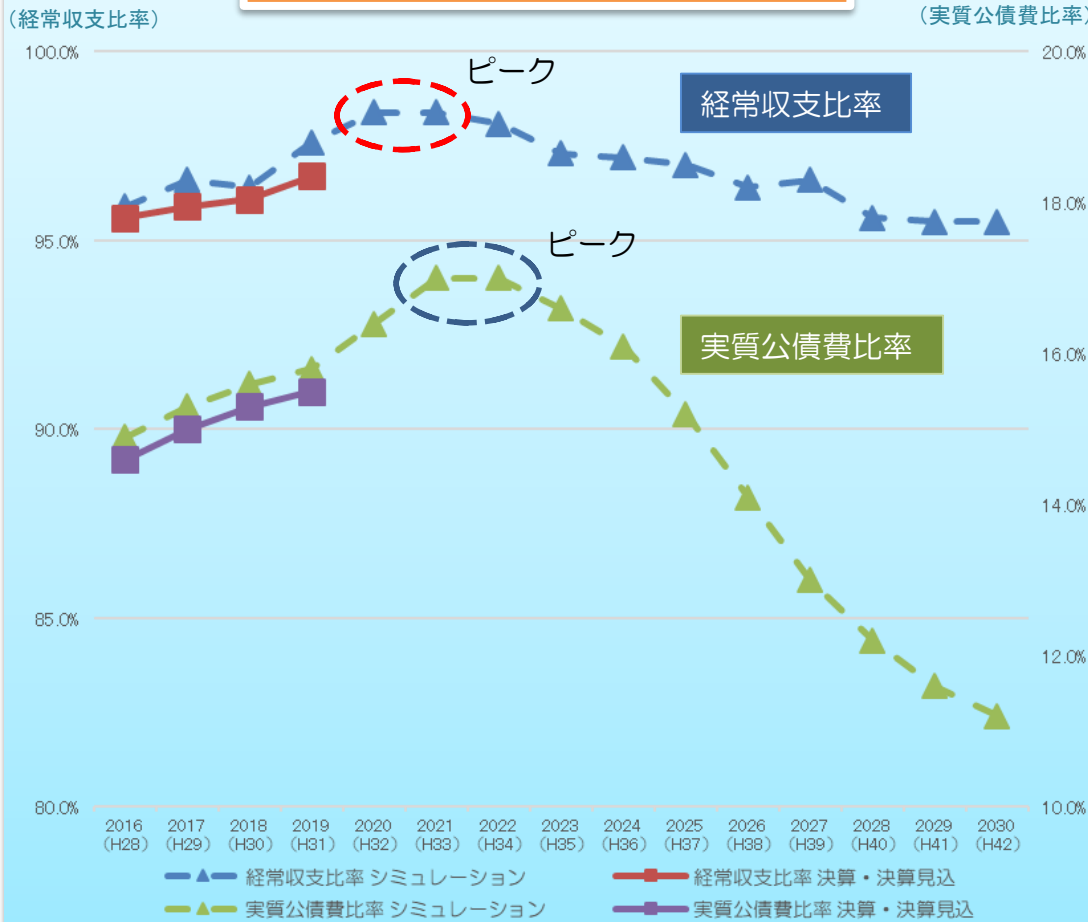
- | | |
|--|---|
| 【生活関連施設】
・斎場(H21)・し尿処理施設(H22)
・ごみ焼却施設(H24) | 【社会教育・体育施設】
・下田公民館(H19)・東公民館(H22)
・栄総合体育館(H23) |
| 【教育・保育施設】
・三条嵐南学園(H26)・大崎学園(H30)
・千代が丘保育所(H19)・裏館保育所(H30) | 【インフラ施設等】
・栄スマートIC(H24)
・新保裏館線アンダー工区(H27) ほか |



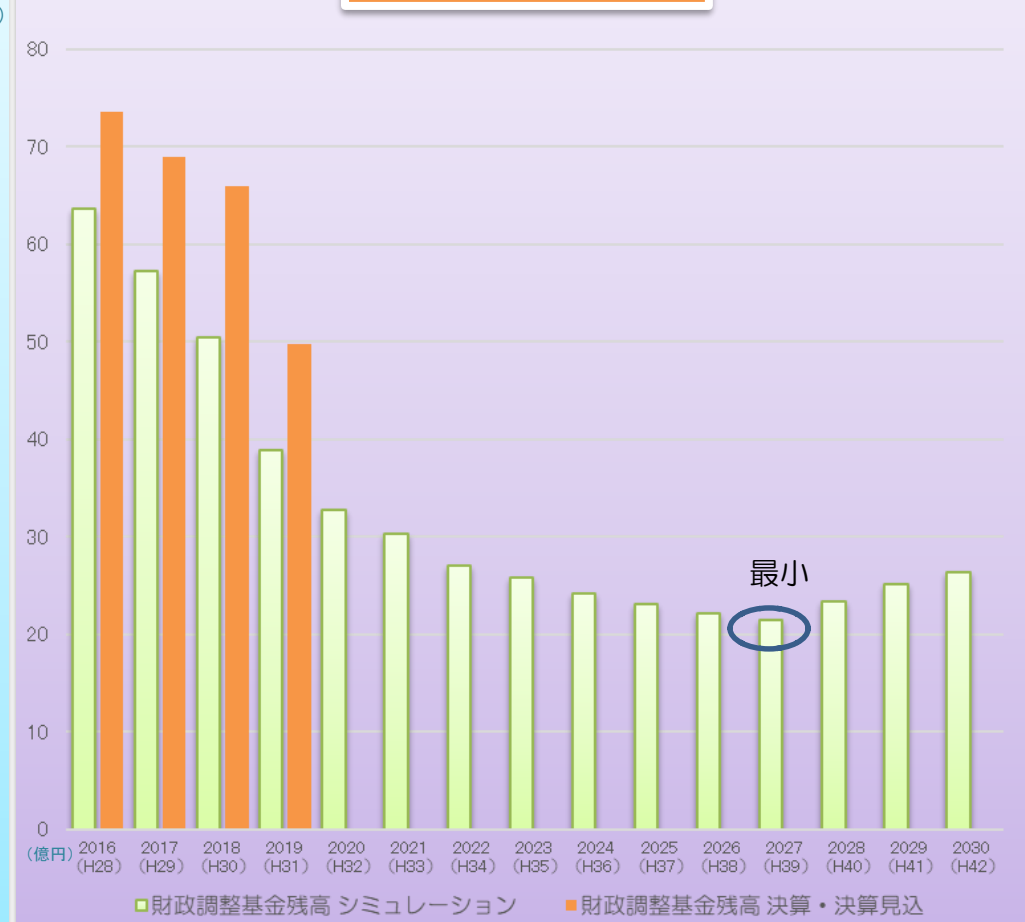
- これからの主な建設事業等
- 体育文化会館 (H31供用開始)
 - 三条技能創造大学 (H33開設)
 - 医療系高等教育機関施設 (H32開設)
 - 新最終処分場 (H32供用開始)
 - 図書館等複合施設 (H34供用開始)
 - ★工業流通団地(土地開発公社)
 - ★住宅団地(土地開発公社)

財政指標の推移（決算・決算見込と財政シミュレーションの比較）

経常収支比率・実質公債費比率



財政調整基金残高



※ 平成27年度財政シミュレーションとの比較

健全財政を維持し続けるために

◎財政調整基金残高 20億円程度を堅持

◎実質公債費比率 18%未満を維持

【参考】財政指標の推移（決算・決算見込）

項目	H28	H29	H30 (決算見込)	H31 (決算見込)
経常収支比率	95.6%	95.9%	96.1%	96.7%
実質公債費比率	14.6%	15.0%	15.3%	15.5%
財政調整基金残高	73.5億円	69.0億円	66.0億円	50.0億円